

森林技術・支援センター

森林技術・支援センターは、各森林管理局に一カ所ずつ設置されており、近畿中国森林管理局では岡山県新見市に設置されています。

林業技術の開発と技術水準の向上、森林・林業の技術者育成、民有林への支援により、わが国の森林・林業の再生に貢献することが期待されています。

そんな森林技術・支援センターの取り組みについて紹介します。



庁舎 玄関側



庁舎 国道180号線より

- 局管轄区域
- 国有林
- 近畿中国森林管理局
- 森林管理署等
- 箕面森林ふれあいセンター
- 📍 森林技術・支援センター

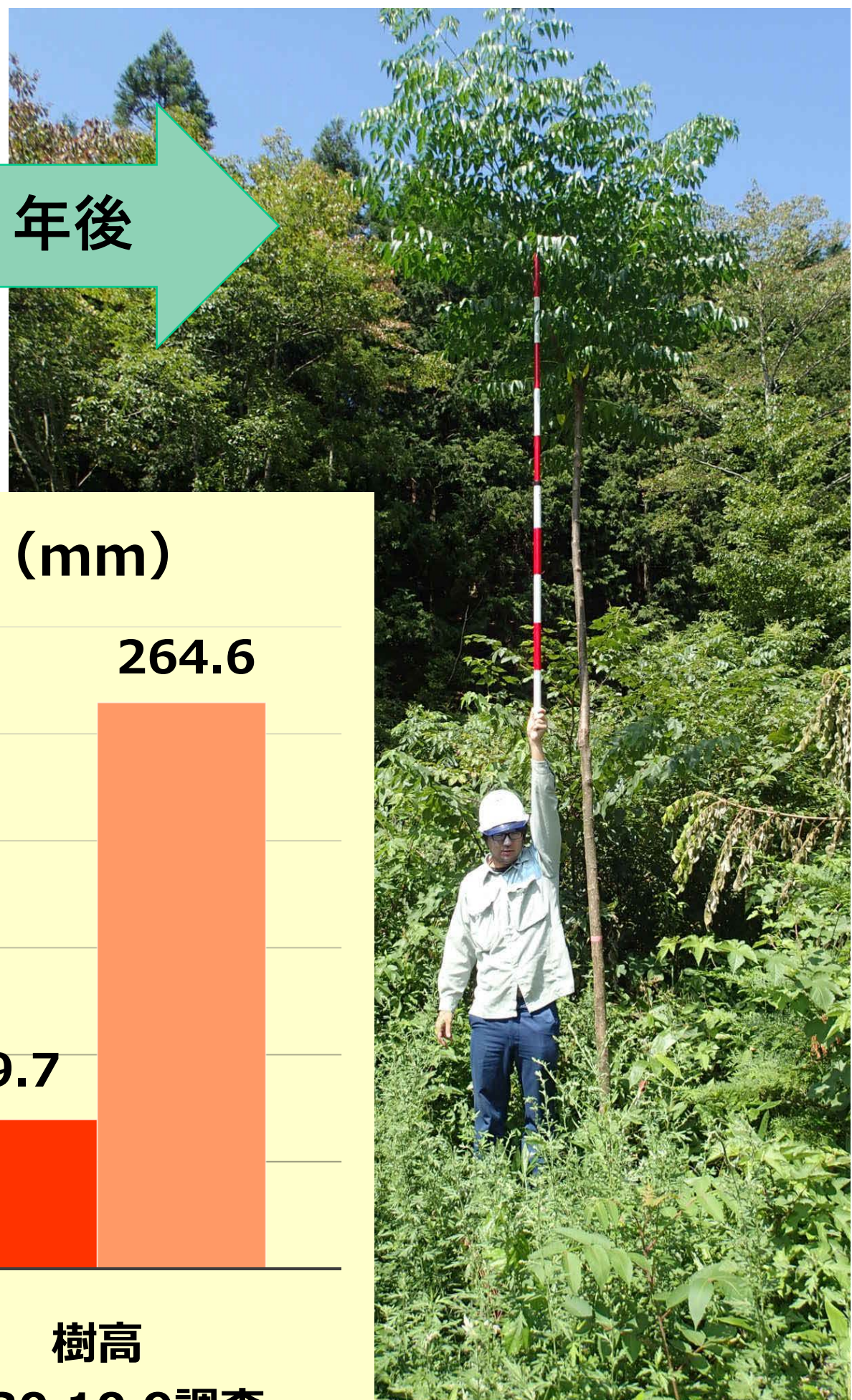


早生樹の植栽試験

スギ・ヒノキ等の従来の造林樹種に比べ、材質が堅く、成長が早く、短伐期で収入が得られるなど、森林所有者に主伐・再造林意欲を喚起する等の効果が見込まれる早生樹「センダン」「コウヨウザン」について保育作業の違いによる生長量調査を実施しています。



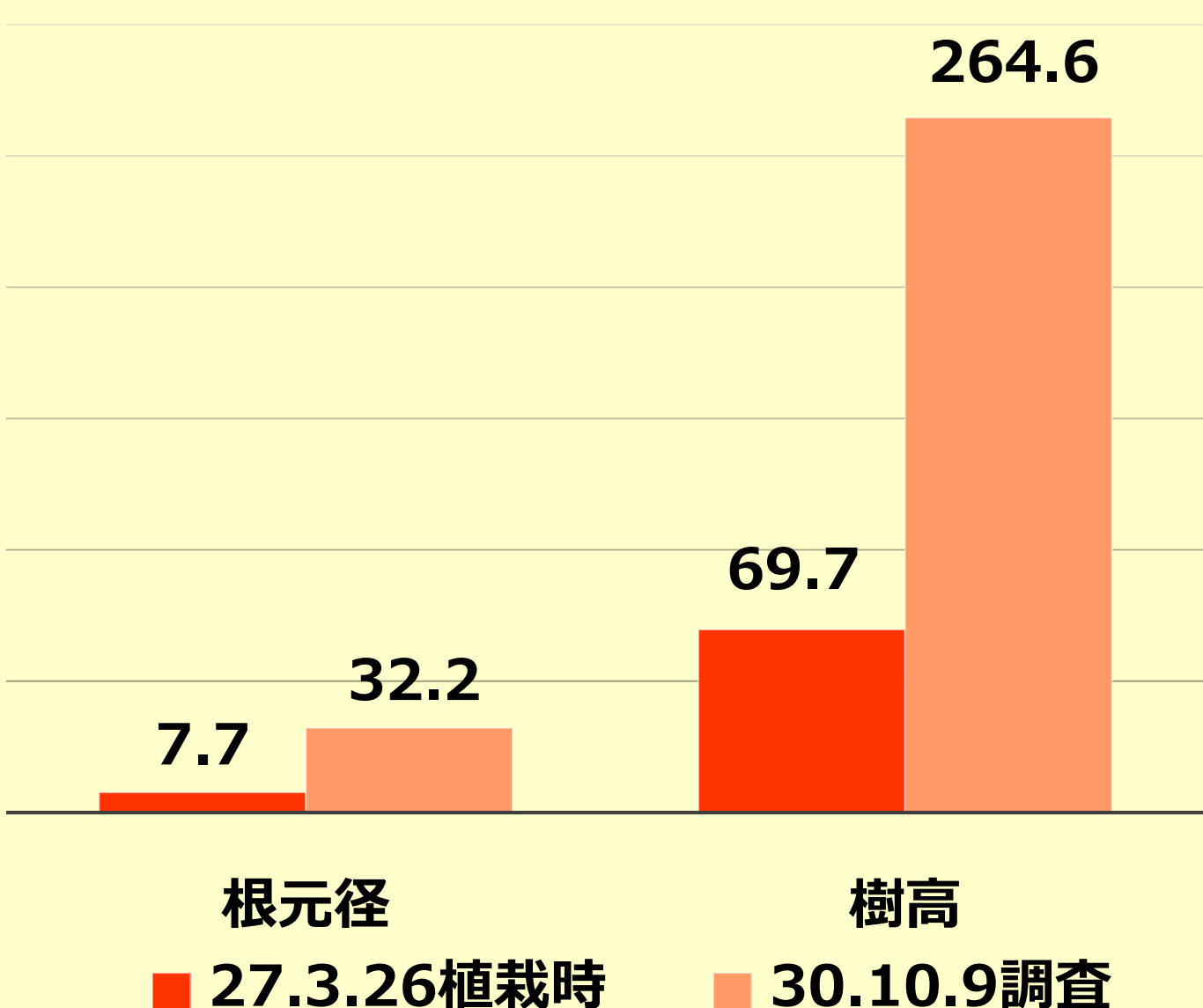
4年後



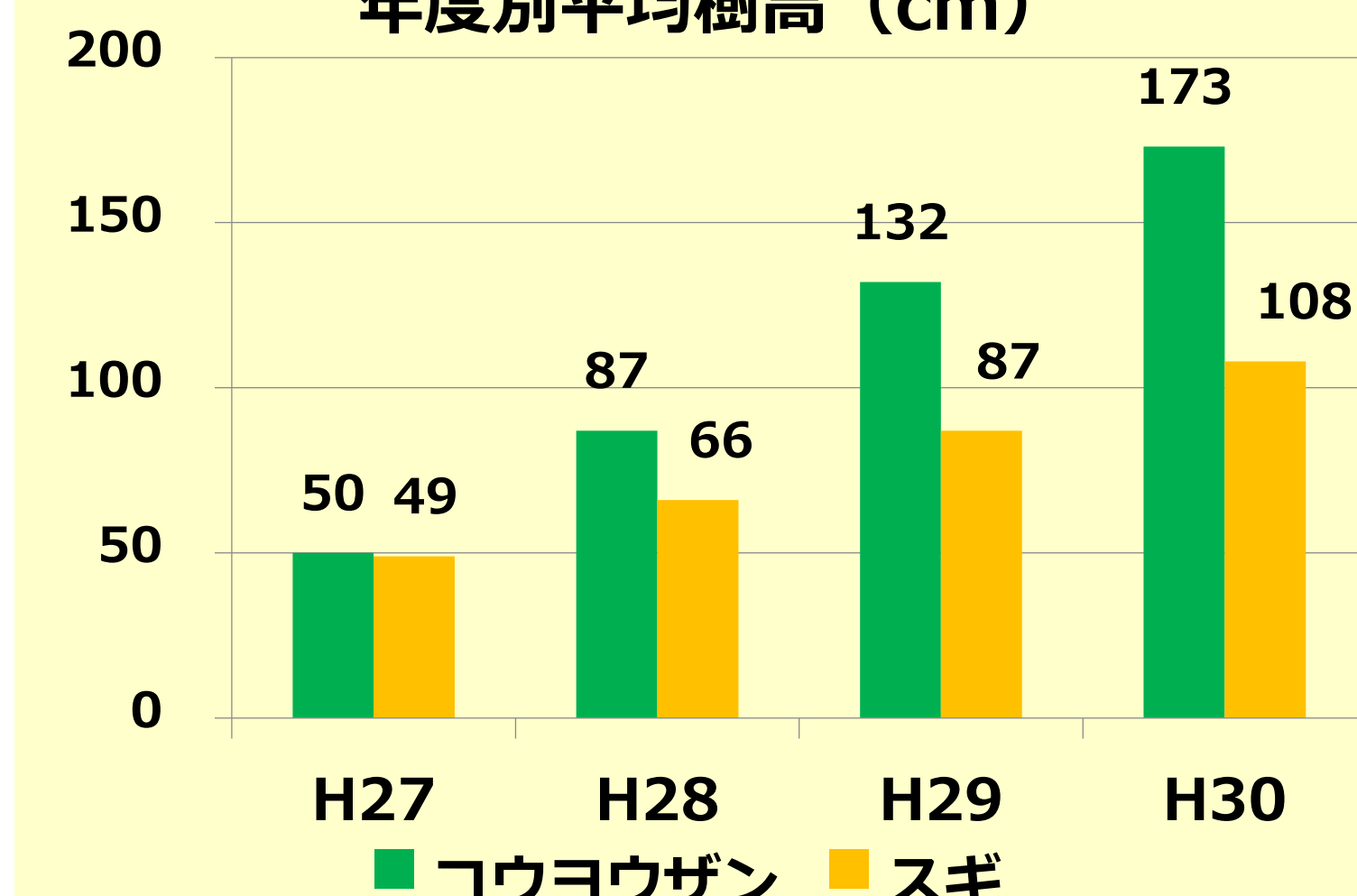
4年後



センダンの平均成長 (mm)



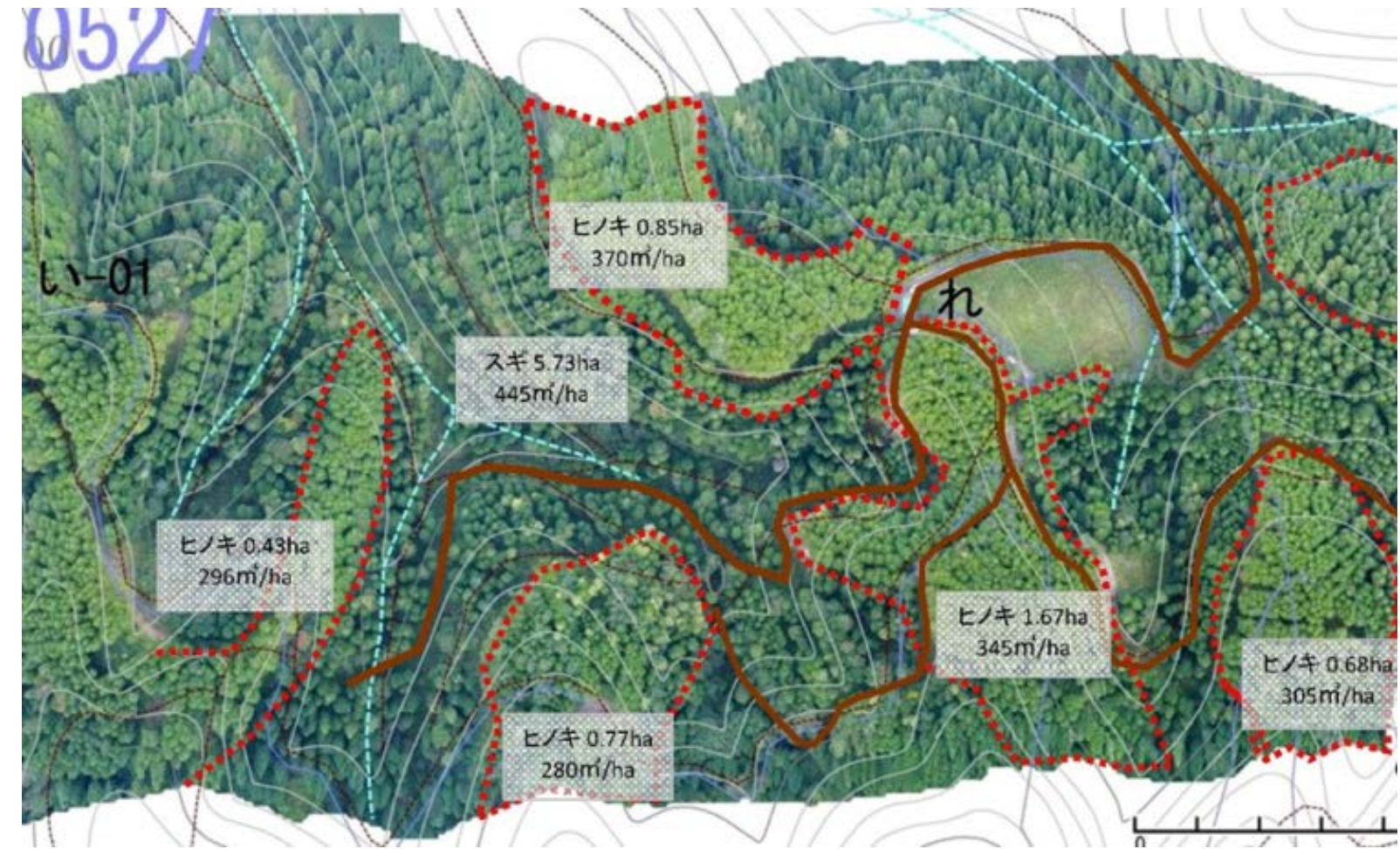
年度別平均樹高 (cm)



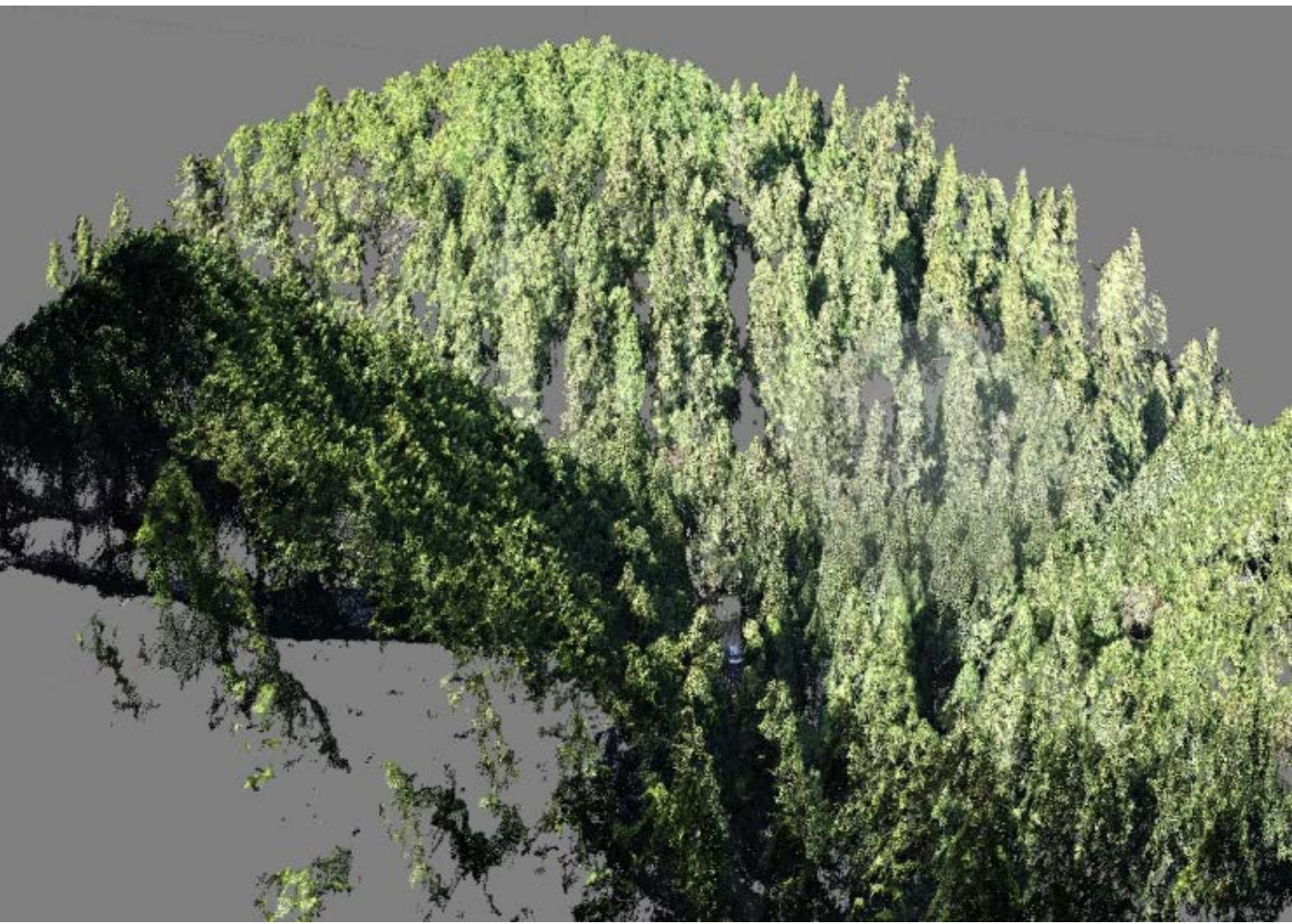
ICT機器による森林資源調査

森林を管理するうえで、山にどんな木がどのくらいあるのかを把握することは大事なことです。

正確な調査を簡単に行うため、ICT機器による森林資源調査の可能性について研究しています。



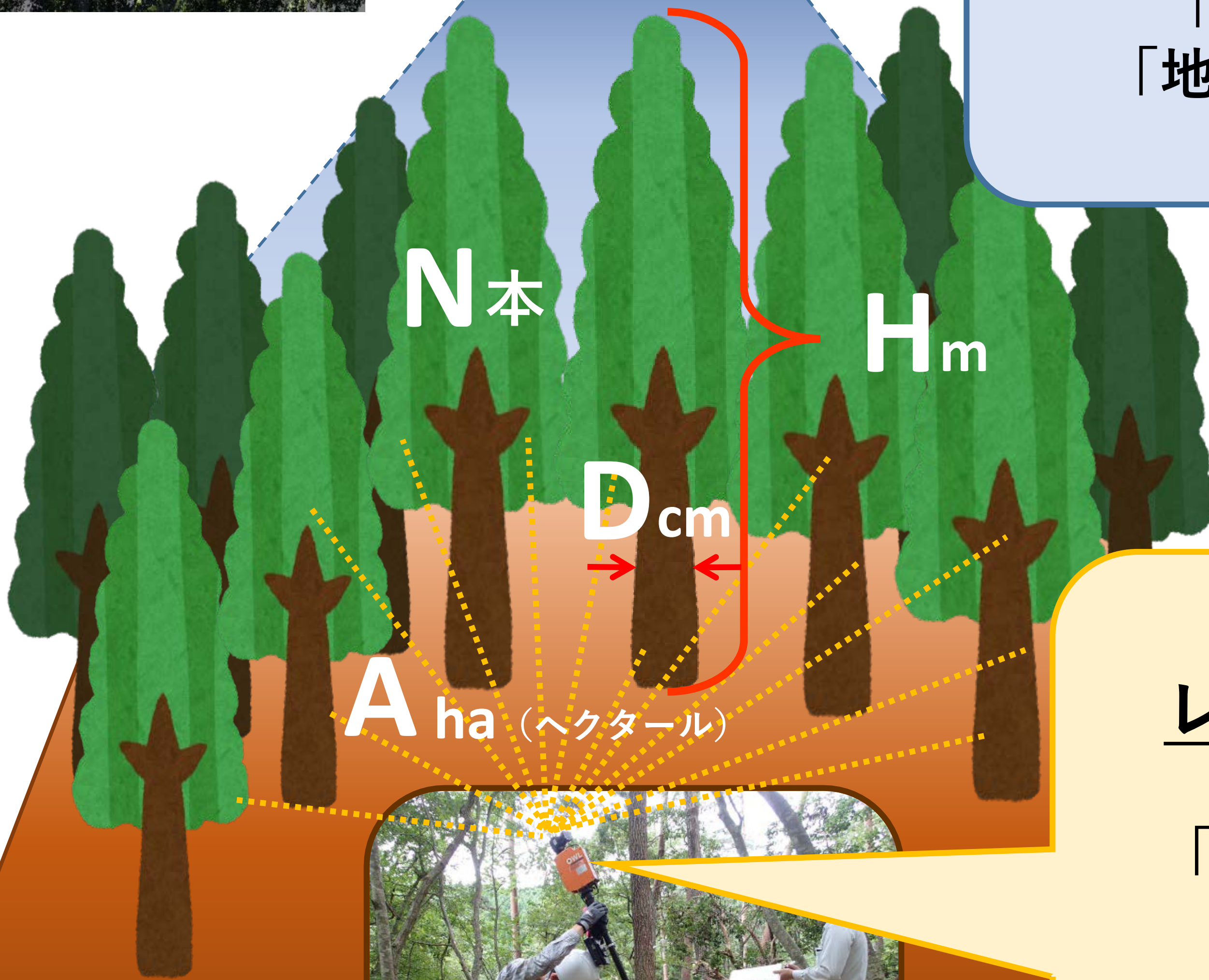
面積の計測



3D写真



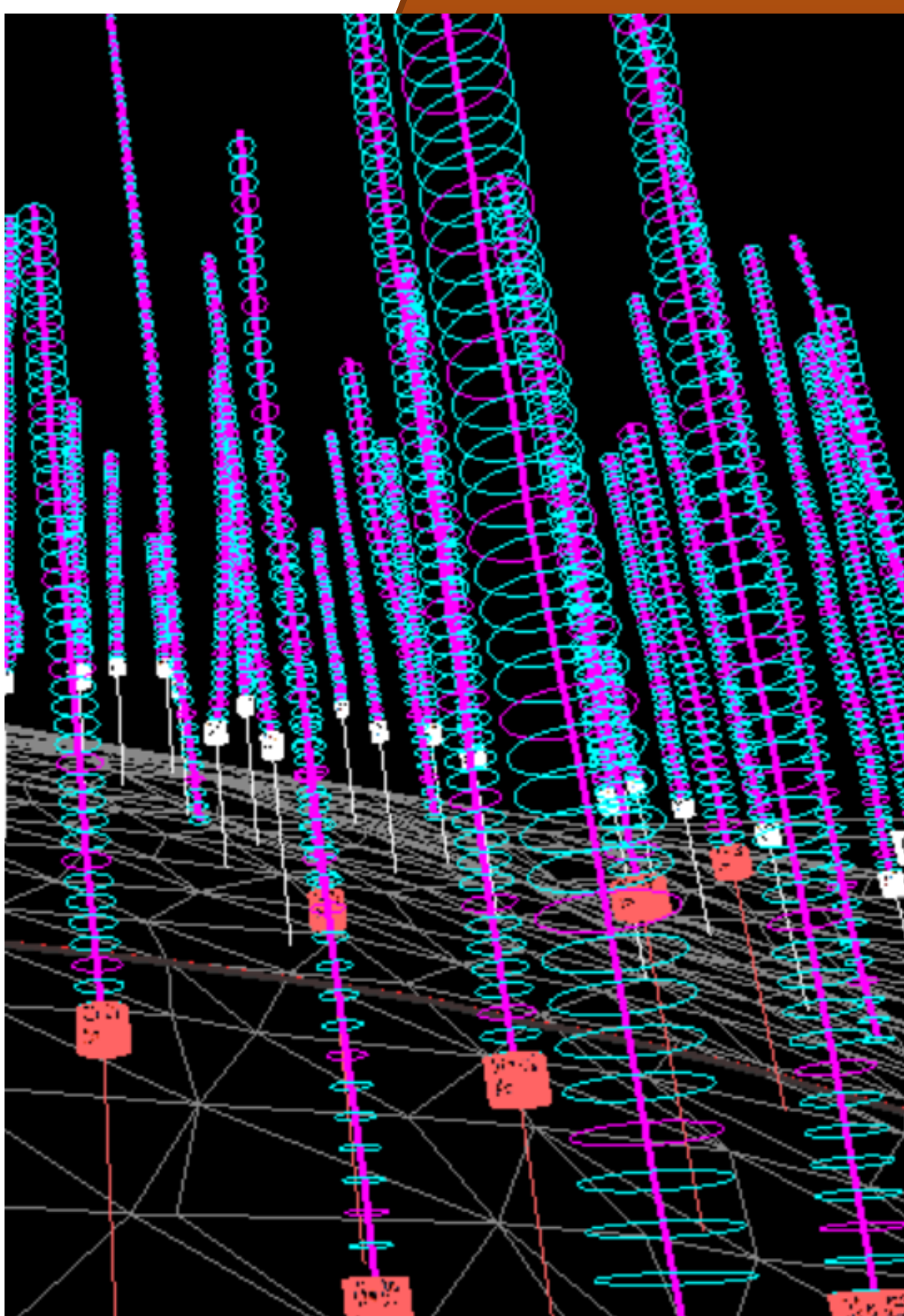
ドローン
森林の
「広さ」「林況」
「地形」「木の高さ」
を写真で解析



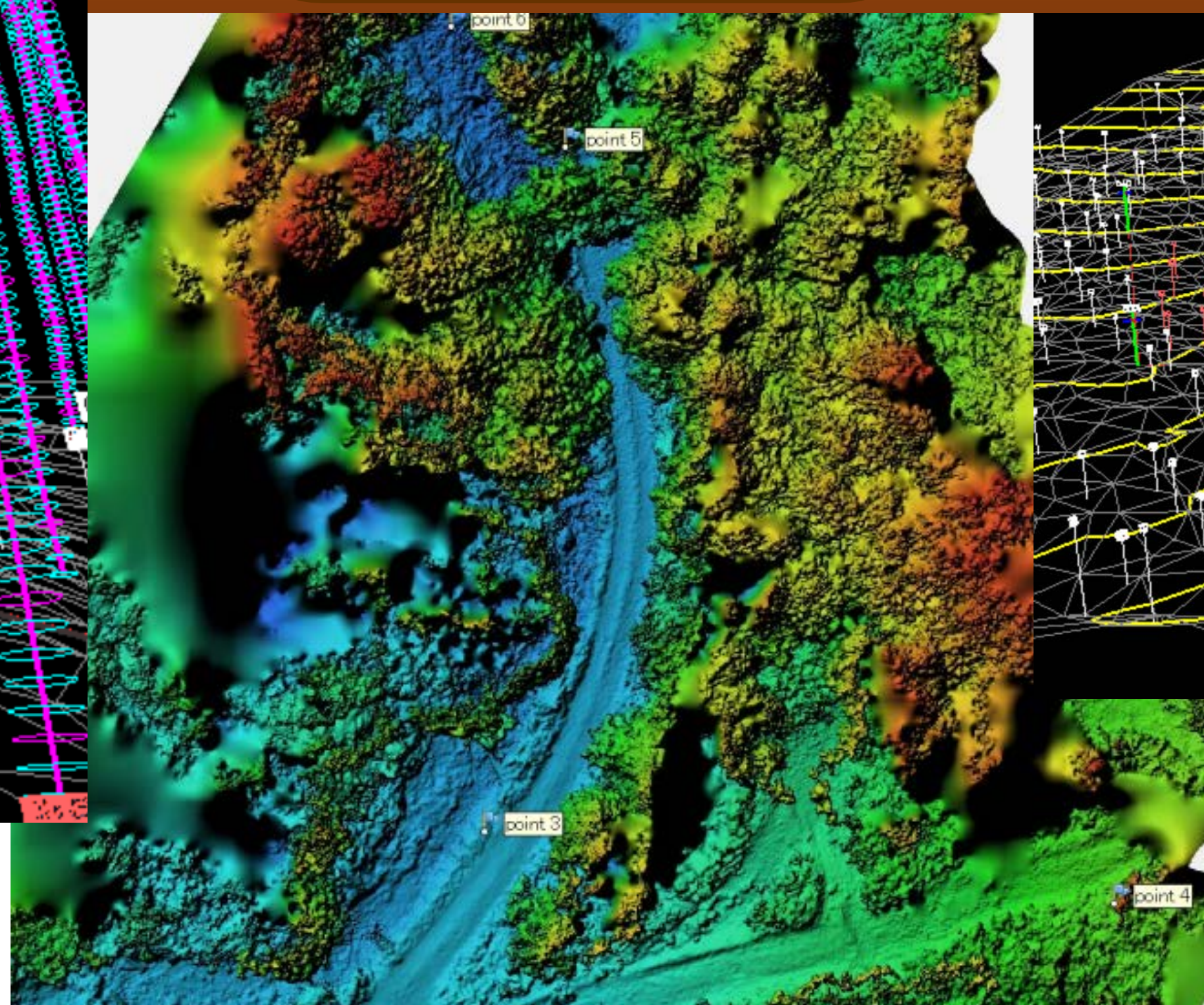
**地上3次元
レーザースキャナ**
立木の「本数」、
「直径」、「形状」、
「位置」や「地形」
を一瞬で計測！



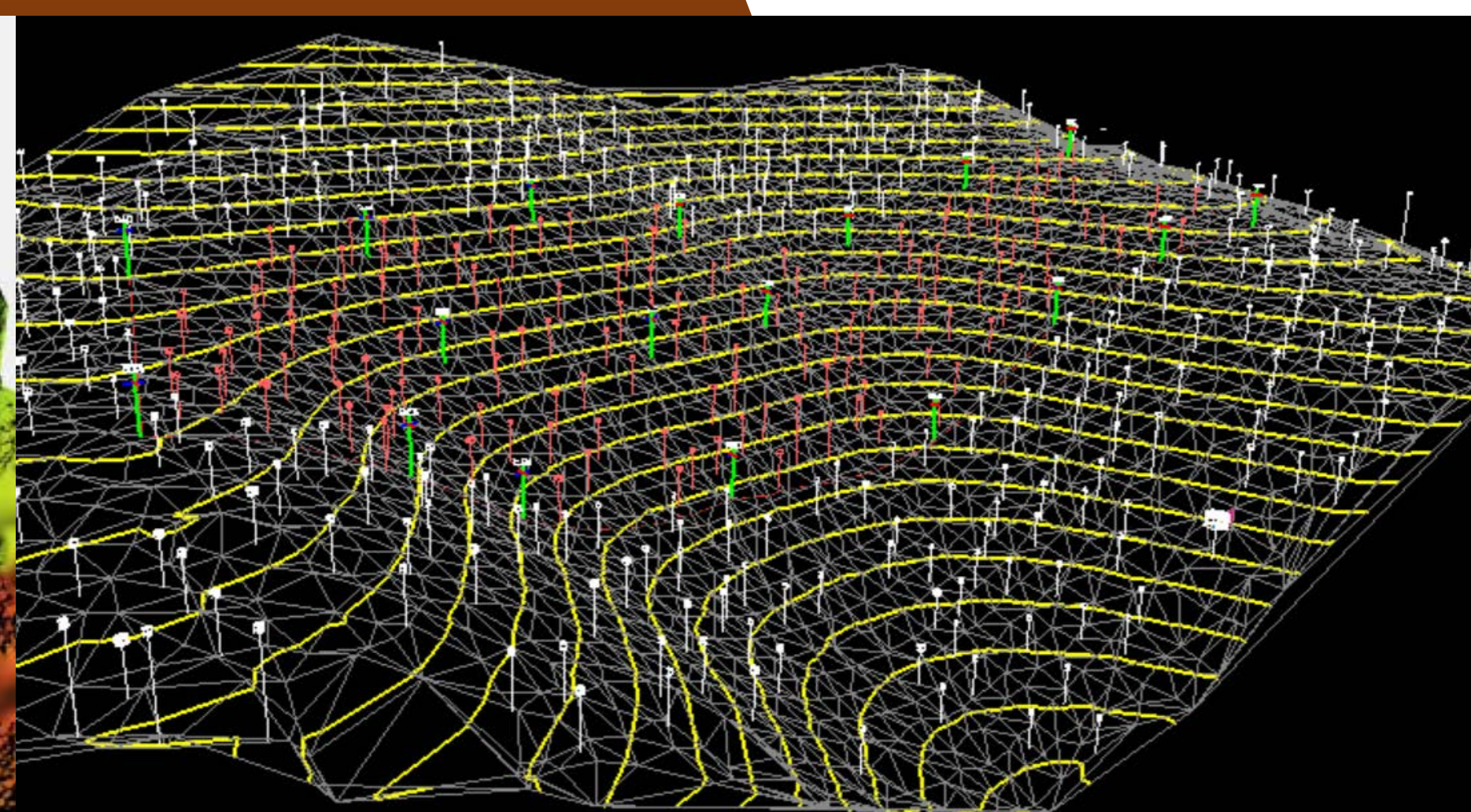
計測の様子



10cmごとの直径



立木の高さ



地形や木の位置の情報

里山広葉樹の有効活用の検討

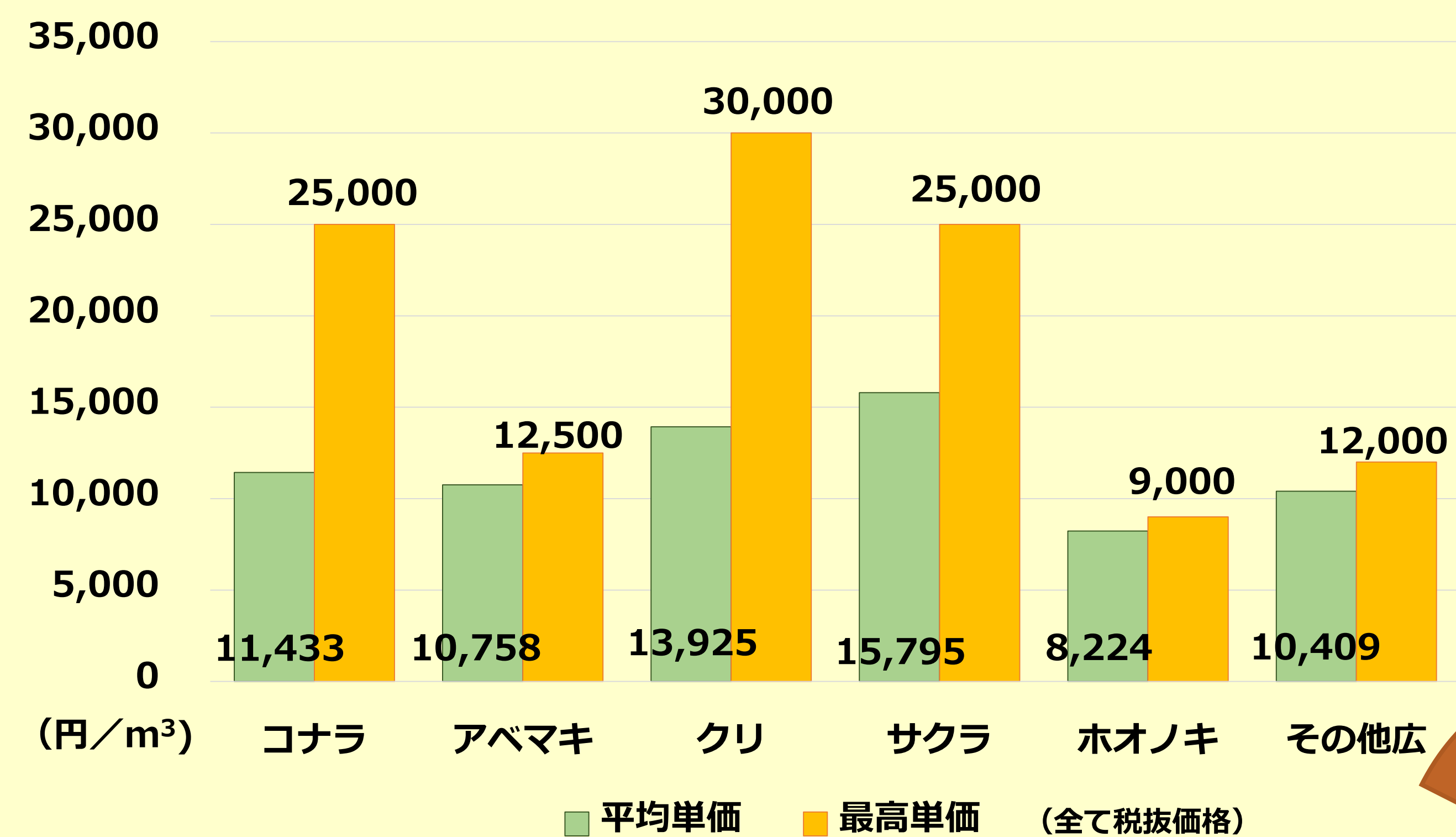
平成29年度の結果



伐採材積率が50%で伐採し、素材（丸太）を津山総合木材市場 新見支店で販売しました

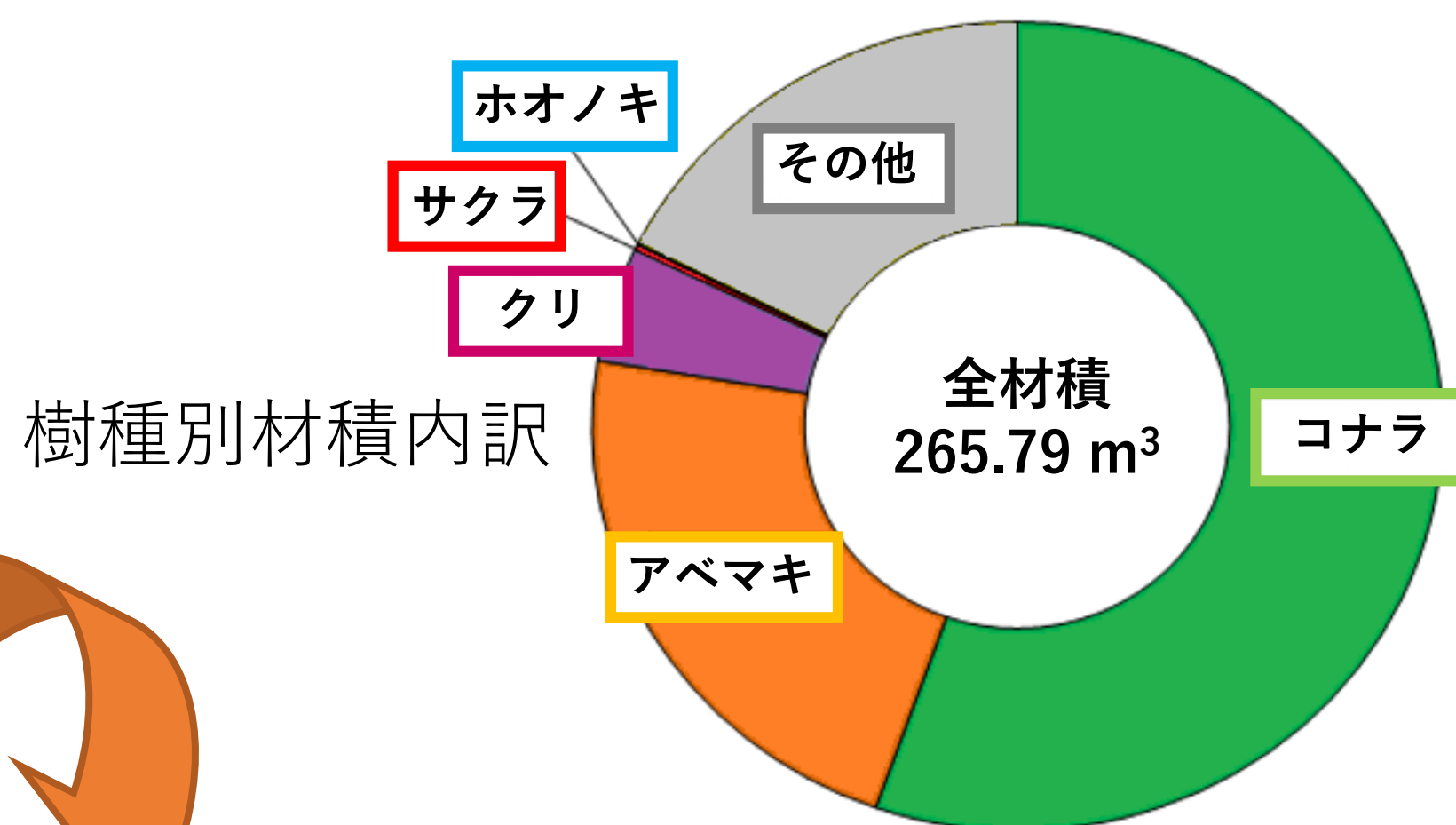


樹種別平均単価・最高単価



伐採

搬出



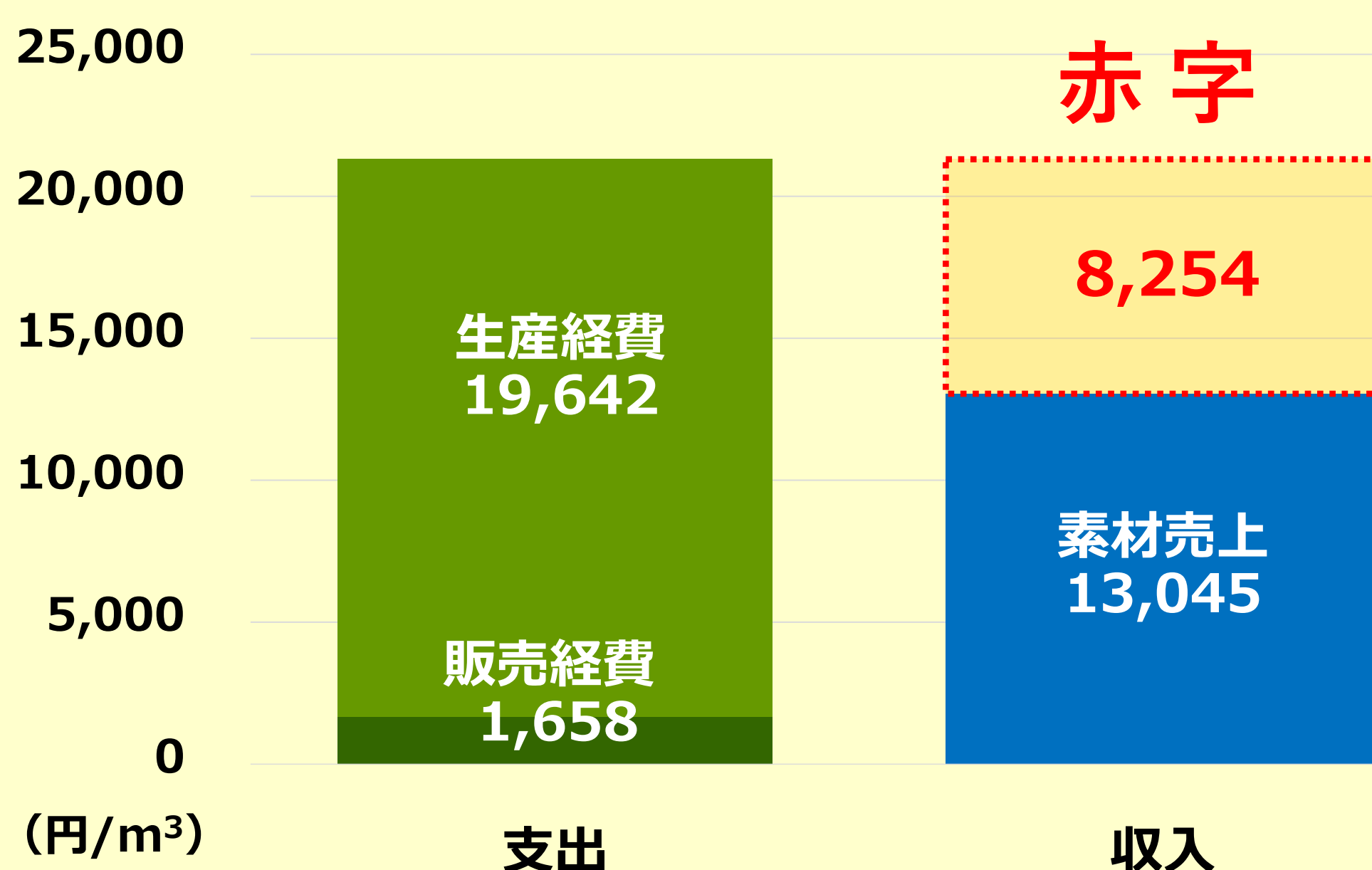
高値で売れたコナラ、クリ、サクラ



アベマキは直径が細いものが高値で売れた
 用途：ピザ用釜の薪



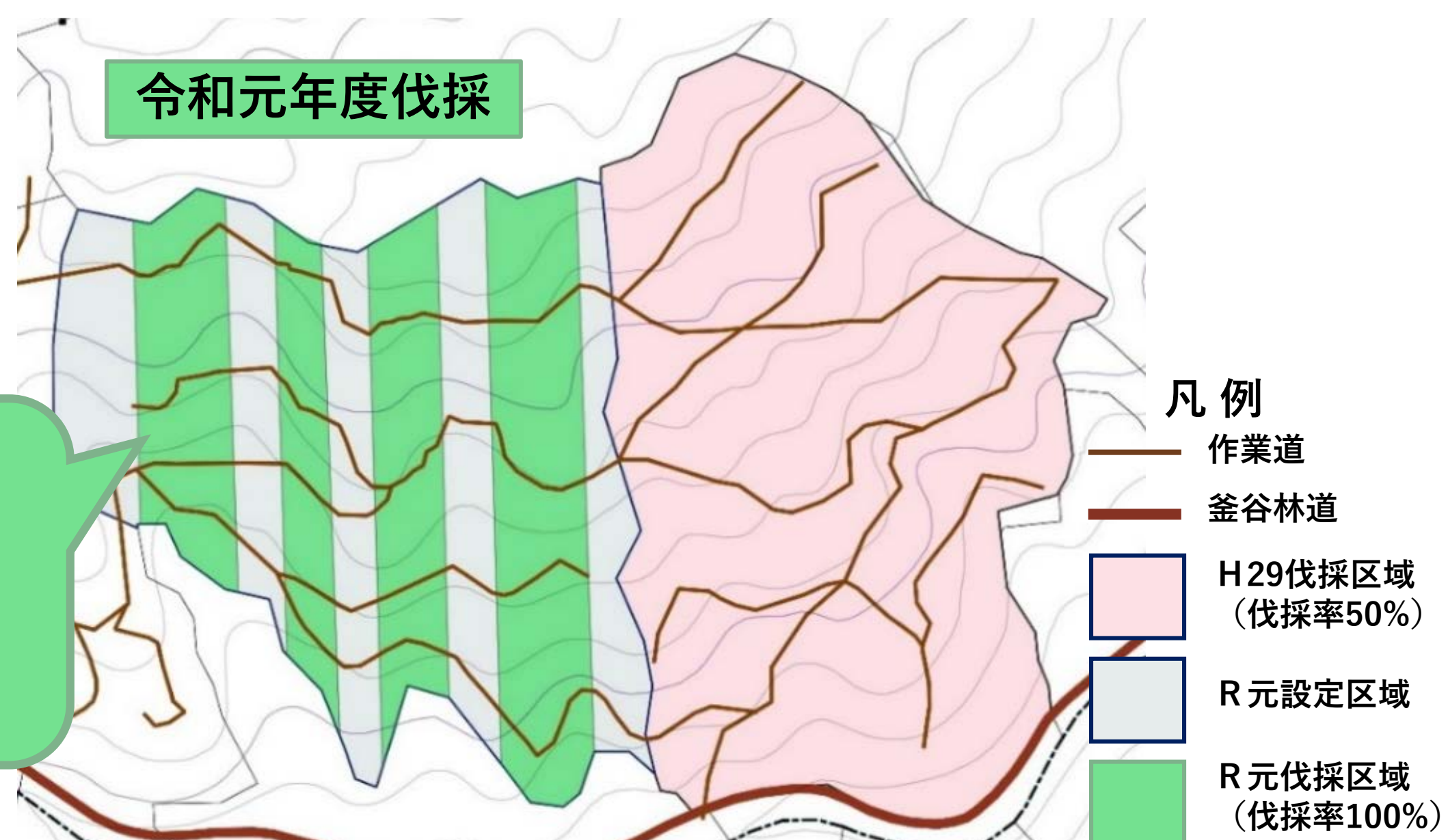
1 m³ 当たり事業収支



- ・生産経費に地表処理、プロット内のササ刈払い等を含む
- ・新設した作業道密度は257m/ha

令和元年度の計画

帯状の伐採区域を100%伐採
 伐採・搬出のコスト削減なるか？



里山広葉樹の天然更新手法の検討（調査協力：岡山大学）

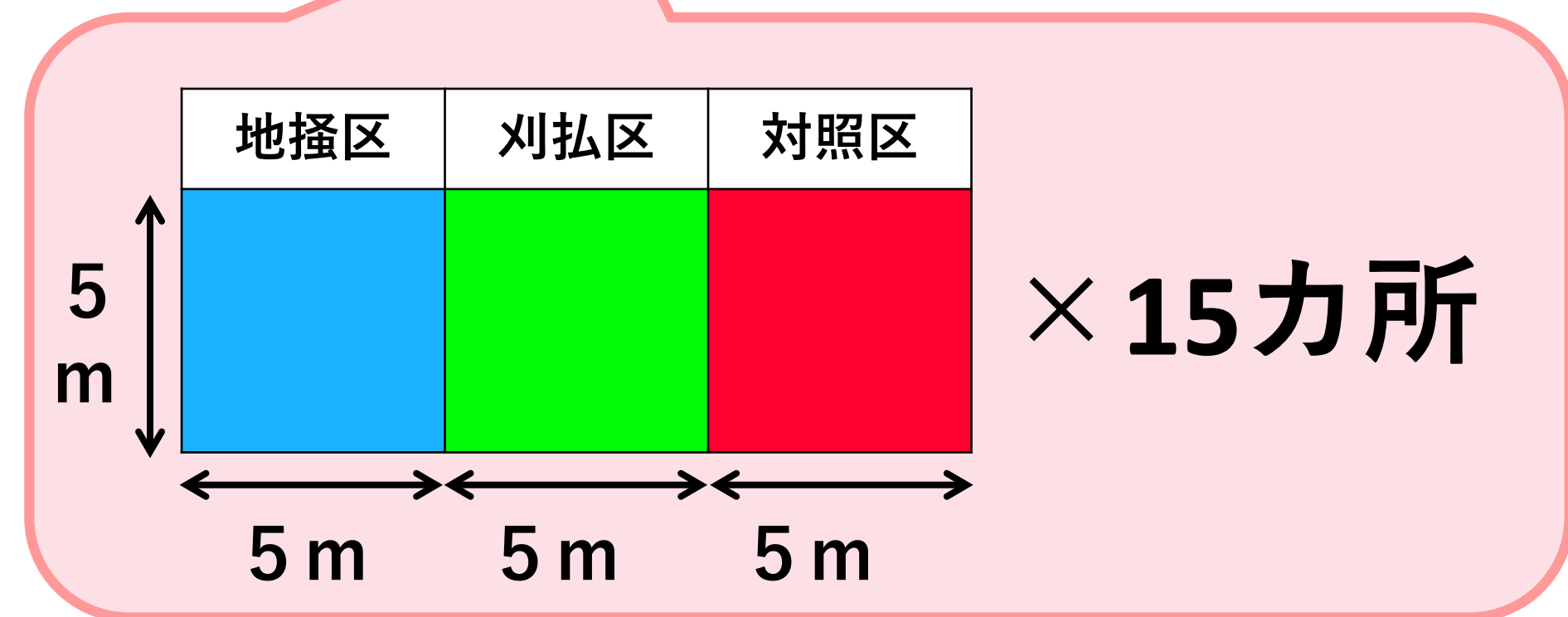
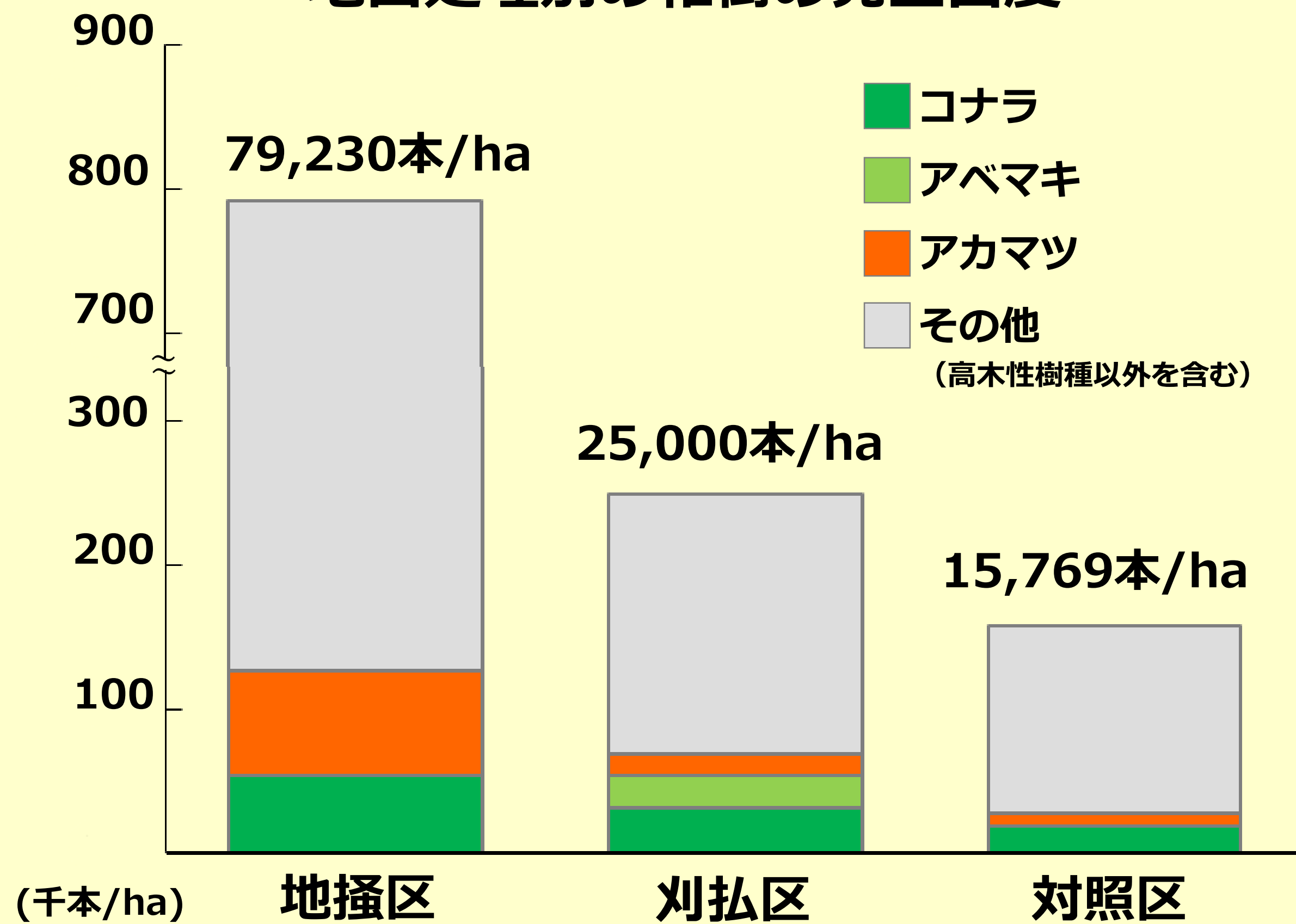
里山の広葉樹が自然に世代交代できるように、主な方法である①天然下種更新（種が落ちて芽が出る）②萌芽更新（切り株から芽が出る）について調べました。

①天然下種更新の調査

地掻区	刈払区	対照区
重機で地表を剥ぎ取った	笹を刈り払った	何も処理しなかった
		



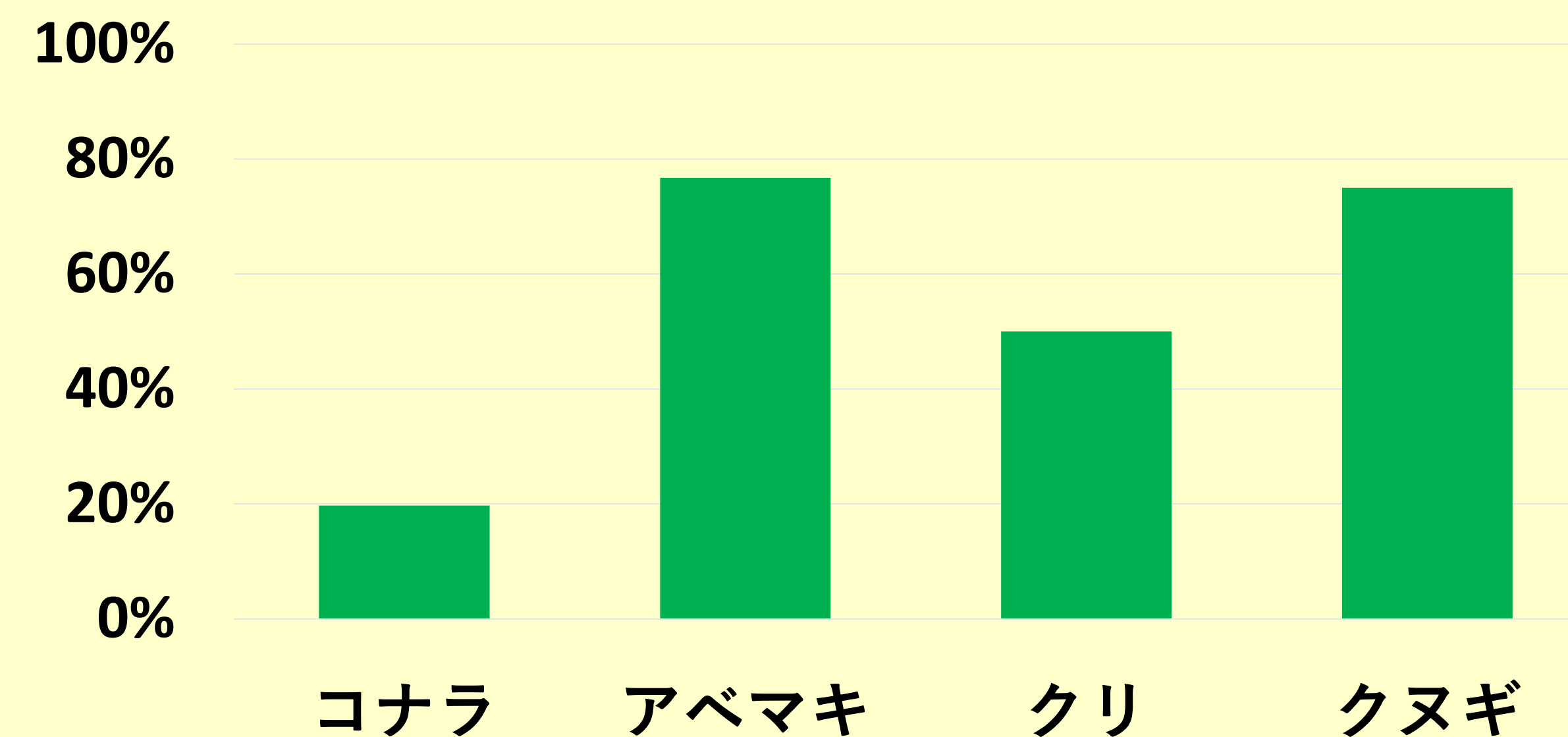
地面処理別の稚樹の発生密度



稚樹の発生 (コナラ、マツ)

②萌芽更新の調査

樹種別の萌芽枝の発生割合



萌芽枝のイメージと萌芽枝が発生した切り株

今後も天然下種更新と萌芽更新を中心に、更新条件の解明に向けて調査していきます。

民有林への支援（現地検討会の開催等）

民有林関係者に対する技術開発成果の普及・定着を進めています。当所が主催する現地検討会の他に、関係機関からの要請で、研修等を受け入れています。



伐倒の見学



アカマツの伐倒



ドローン操作の講習



路網の検討の講習



コンテナ苗の植え付け

森林・林業の普及啓発活動

森林の大切さを一般の方や子ども達に感じていただくために活動しています。



つるかごづくり



木エクラフト



森林教室